

まちの話題



江戸時代の農民を救った 五庄屋の遺徳をしのびました

5月2日、江南小学校で「五庄屋追遠会」が行われ、児童や五庄屋の子孫、地元住民ら約200人が参加しました。

追遠会の会長である井浦憲剛さんは、式辞として、現在の緑豊かな穀倉地帯は先人の努力の賜物であることを述べました。

式典終盤には、五庄屋の偉業をたたえる江南小学校の校歌を出席者全員で歌いました。



うきは市出身 尾花成春氏の 作品が久留米市美術館で展示

4月2日、うきは市出身の画家^{おばなしげはる}尾花成春氏の作品が久留米市美術館で展示されることの報告で、尾花成春氏のご遺族や久留米市美術館の方々が高木市長を表敬訪問しました。

展覧会「ちくご ist 尾花成春展」では、初期から晩年までの作品と資料によって、ひたすら筑後で制作することにこだわった尾花成春氏の全貌が紹介されています(7月7日(日)まで)。お近くへお越しの際は、ぜひご覧ください。



今年も「ヤマーカセー」の 掛け声響き、地域が賑わう

4月11日、五穀豊穡と無病息災を願う伝統行事「浮羽おくんち」が催されました。

山北地区の賀茂神社本殿で神事と浦安の舞が奉納された後、二人一組で槍を投げる力強い「振毛槍」の掛け声を始めに、子ども楽や可愛い稚児たちが練り歩きました。

神社境内にはたくさんの露店が軒を連ねるなど、地域全体が終始賑やかな雰囲気包まれました。



うきは市民大学開講式が行われました

4月27日、白壁ホールでうきは市民大学の開講式が行われました。

式には各学部の受講生・一般参加者合わせて163名が出席し、いきいき学部の石井信男さんが受講生代表挨拶をされました。

その後、鷹鳥屋神社宮司で口演家の矢野大和さんによる記念講話があり、会場は終始笑いに包まれていました。